



EM整流ペットボトルで害獣からパークゴルフ場を守る 愛媛県東温市 介護老人保健施設「長安」

松山市の東に隣接する東温市は、みかん・稲作・花卉栽培が盛んで温暖な気候の緑豊かな丘陵地帯。この恵まれた場所にある中国風の建物で目立つ介護老人保健施設「長安」(田内桂司施設長)は、東洋医学も取り入れ定員100名のリハビリにも定評ある介護老人保健施設。長安の名称は「長寿安寧」から名づけられたものだが、愛媛県内で医療・福祉・パブリック等40か所の施設を運営するアトムグループが長年、中国との文化交流に尽力するなど、日中友好に貢献していることにもよるとされる。

この長安はアトムグループの医療法人「順風会」で運営しているので医学的管理が行き届き、従事する職員が熱心で優しいので、リハビリは地域のお年寄りに大変評判が良い。短期リハビリの定員は午前20人、午後20人だが、いつも満員だ。リハビリの場所が明るく眺めがよく、若くて明るい相談員も評判に貢献している。

一般的に介護老人保健施設と言うと、雰囲気は暗くて行きたくないと思われがちだが、この長安なら入所してもいいかな！と思わせる空気が漂っていた。この施設でのEMは他の施設同様に清掃・洗濯・ゴミ処理・花壇への水やりにも使用されているが、特徴的なのは丘陵地帯の場所柄、イノシシ・モグラ・ハクビシン・ネズミなど害獣の被害対策にEMが使用されていることだ。

健康づくりの一環としてパークゴルフを取り入れているが、ゴルフ場にイノシシが出没してグリーンが荒らされ、モグラも穴を掘ってハクビシンも荒らしていたようだ。これの対策として、2年前にEM整流のペットボトルを柵にロープを張り高さ1mで2m間隔につけたら、ほとんど被害が無くなったようだ。途中に背の低いイノシシの子供が、柵をすり抜けて入ってきたので高さ50cmの所にもう一つ設置したら、入らなくなったと言う。害獣の種類に応じて、試行錯誤を繰り返してペットボトルの置き方等を研究対処し、成果を上げている。

松山市 小野川の浄化でホタル観賞を

松山市の郊外に建つ松山城南高校のそばを流れる小野川の一角(支流の一部の小川)にてホタルを飛ばそうという計画が進行している。アトムグループのEMとことん推進隊のメンバーの皆さんが中心となり、地元地域の皆さんと一緒にこの小川にEMダングや活性液を投入し環境の整備を図ってカワニナを育てている。また、3か月に一度の割合で、小野川の本流にも900個のEMダングを投入して水質浄化を進め、少しずつではあるがホタルが生息する環境が整いつつある。近い将来、この地で輝きながら勢いよく飛ぶホタルの姿が見られることを期待している。

(取材:理事 広報担当 大山正治)



中国風外観の介護老人保健施設「長安」、手前はパークゴルフ場及びゲートボール場で害獣対策としてEM整流ペットボトルが2m間隔で設置されている



EMで浄化されつつある小野川、左上の松山城南高校側の小川にホタルのエサになるカワニナが養殖されている